

かけがえのない きみだから

道徳年間指導計画

作成のしかたと実際例

もくじ

- ◆道徳の指導計画のたて方 …………… 2
- ◆年間指導計画作成のQ & A …………… 6
- ◆「中学校道徳」学習指導要領とその解説 …………… 8
- ◆小・中学校「道徳」の内容項目の関連表 …………… 10

道徳の指導計画・5つのポイント

- 道徳の指導計画には、主として「道徳教育の全体計画」と、それに基づく「道徳の時間の年間指導計画」の2つがあります。
- 「全体計画」は、教育活動全体を通しての道徳教育の方針を示したものです。
- 「年間指導計画」は、道徳の時間を計画的、発展的に進めるための1～3年の年間を通した指導計画です。
- 指導計画は、児童や学校の実態に応じたものにすることが大切です。
- 指導計画は、できるだけ多くの教員(できれば全教員)の手で作成するのが望ましいとされます。

道徳の指導計画のたて方

1 道徳教育の全体計画をどう構想するか

「道徳教育は道徳の時間の中で行うもの」と考えがちですが、道徳の時間は主として道徳的価値及び人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を養う場です。

道徳教育は、教科の学習や外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、学級的生活場面など、学校の教育活動全体を通して行うもので、「道徳の時間はその「かなめ」となるものです。学校の実情に合った全体計画を作成しましょう。

●全体計画とは何か

道徳教育の全体計画について、『中学校学習指導要領解説・道徳編』（文部科学省）には、次のように書かれています。

道徳教育の全体計画は、学校における道徳教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画である。

この全体計画は次の点において、重要な意味をもつと考えられます。

▼校長の方針の下、各学校の特色や実態及び課題に即した道徳教育が展開できる。

▼全教師による一貫性のある道徳教育を、全教育活動の中で可能にする。

▼学校全体の道徳教育のかなめとして、道徳の時間の役割が明確となる。

▼家庭や地域での道徳教育との連携プレーを図るきっかけになる。

●全体計画を作成する手順

実際に全体計画をどのような手順で作成するかを述べます。各学校の実態により多少の違いはありますが、一般的には次のような方法が考えられます。この手順により作成したのが、次ページの全体計画具体例です。

①学校の道徳教育の重点目標を設定する

学校の教育目標に基づき、道徳教育が果たすべき役割を確認し、校長の方針の下で生徒の実態や家庭、地域の要望などを十分に生かして、自校で重点的に指導する道徳教育の目標を設定する。

②学年ごとの指導の重点を設定する

道徳教育の目標を踏まえ、生徒の発達段階や実態に応じて、さらに各学年ごとの具体的な指導の重点を明らかにする。

③道徳の時間の役割を明示する

補充・深化・統合する役割を担う道徳の時間の目標を示す。

④教育活動全体で行う道徳教育の基本方針を設定する

各教科、外国語活動、総合学習の時間及び特別活動、そのたの教育活動の内容及び時期について記す。

⑤『心のノート』の用い方を位置づける

・道徳教育の基本方針の中に位置づけていく。
・各学年の指導の重点などに明示する。

・道徳の時間の指導での補助的活用の指針を示す。
・日常の指導での子ども活用の促し方を示す。

・家庭や地域との連携に位置づけていく。

⑥豊かな体験活動との関連を図る

道徳的価値の自覚が図られる豊かな体験的な活動を、3年間の見直しをもって計画し、道徳の時間との関連を明確にする。

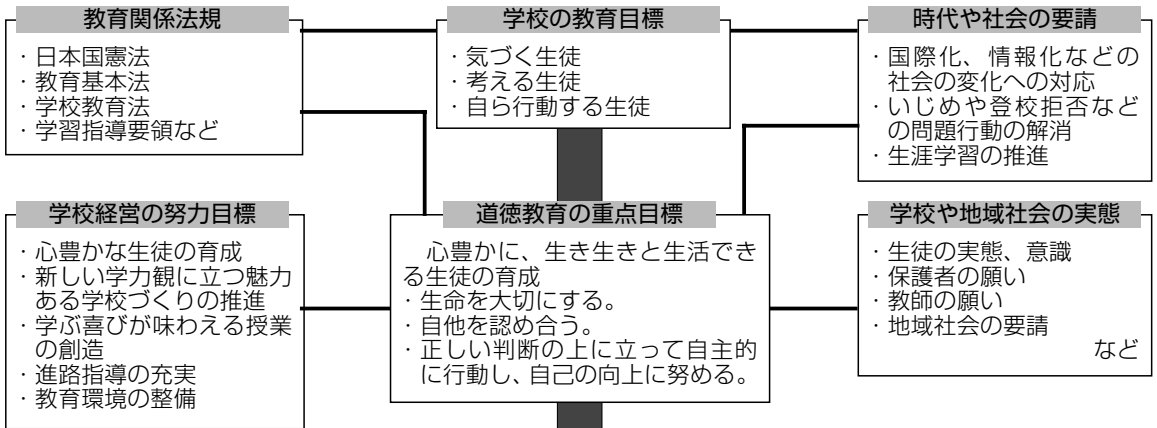
⑦家庭や地域との連携のあり方、物的・人的環境の整備・方法を明示する

●作成に当たって留意すること

より実際の指導に生きる全体計画の作成には、次の点に特に留意します。
・全教師が参画、協力して作成を進める。

・生徒、保護者、地域の人々の声を反映させる。

道徳教育全体計画の具体例



各学年ごとの指導の重点		
1 年	2 年	3 年
<ul style="list-style-type: none"> ・衝動的になりやすい自分自身の在りように目を向け、自立できるよう、望ましい生活習慣を身につける。 ・他の人の立場を尊重しながら思いやりの心をもって接する。 ・自分の所属する集団の在り方を十分理解し、自己の役割と責任を自覚するとともに協力し合っ て集団生活の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを振り返って正すべきところは正しつつ、絶えず自己を高めようとする。 ・ともに語り、悩み、共感し、そして励まし合い高め合うことのできる友情を育てる。 ・不正を憎み、不正な言動を断固として否定することにより、差別や偏見のないよりよい社会の実現に尽くすように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶えず理想を求め、目標をもって着実に努力する。 ・異性に対する理解を深め、信頼と敬愛の念を育み、互いに向上していこうとする。 ・世界の中の日本人としての自覚をもち、外国の人々や異文化に対する理解と尊敬の念を重視し、世界の平和と人類の幸福に貢献するように努める。

道徳の時間の指導方針
<ul style="list-style-type: none"> ・全体で行う道徳教育を補充・深化・統合する「かなめ」の時間。 ・道徳的価値及び人間としての生き方について自覚を深める。 ・生徒一人一人の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を高め、道徳的実践意欲と態度の向上を目指す。 ・体験的な活動と密接に関連させ指導する。 ・ティームティーチングや役割演技、写真・VTRの使用、保護者や地域の人材の活用など創意工夫ある指導をする。 ・『心のノート』を補助的な教材として活用する。

各教科	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	学校同和教育	進路指導
各教科の目標達成に努める中で、道徳的実践力の指導に留意する。 体験的な学習や問題解決的学習を重視する。	集団生活を通して集団の一員としての自覚を高め、自主的実践的な活動を通して、人間としての生き方について自覚を深める。	問題を主体的に解決する力、情報収集や発表、討論する力を身につけたり定着させていく。 自分自身を見つめ、互いに認め合い、高め合うとともに、自分なりの価値観を育めるよう援助する。	共感的な人間関係を図るとともに、生徒一人一人が目標をもって将来を展望し、自己実現が図れるよう援助する。	全教職員の共通理解を図り、日常の教育活動における実践を通して、人権を尊重する生徒を育成する。	自分の特色や将来の生き方を考え、自分にふさわしい進路を選択するとともに、その実現に向けて努力する。

道徳的実践の場			
教育環境の整備	豊かな体験	「心のノート」の活用	家庭・地域社会などとの連携
<p>道徳教育を効果的に進め、人間としての生き方についての自覚を深めるための環境づくりに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係の充実 ・校舎、校庭や教室の整備 ・言語環境の改善 	<p>道徳的実践を促したり、育成したりするための豊かな体験の場の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業 ・学級活動 ・部活動 ・様々な行事 	<p>生徒が道徳的価値や人間としての生き方にかかわって気づいたり、考えたりしたことを記録したり、整理したりすることを通して自ら道徳性をはぐくみ、人間としてよりよく生きること資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科、特別活動、総合的な学習の時間で活用 ・道徳の時間の一部で活用 ・保護者会のテーマとして「心の教育」を設定 	<p>家庭や社会との交流を密にし、協力体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の人材を授業に活用 ・地域公開型授業 ・学校、学年、学級だより ・道徳だより ・PTA 活動 ・学校、家庭、地域連絡会 ・体験活動

2 道徳の時間の年間指導計画をどう作成するか

学校における道徳教育が意図的、計画的、組織的に行われる以上、道徳の時間の指導計画がなければいけないのは当然のことでしょう。少なくともテレビ番組に頼りすぎたり、生徒指導上の問題ばかりをとり上げて指導するのは、意図的、計画的、組織的な道徳指導とは言えません。本書は独自の主題構成、配列を行い、年間指導計画を作成しています。これをよりどころとするなどして、各学校の指導方針に応じた年間指導計画に修正していつでもよいのです。

●年間指導計画とは何か

道徳の時間の年間指導計画について、『中学校学習指導要領解説・道徳編』（文部科学省）では次のように示されています。

道徳の時間の指導が、道徳教育の全体計画に基づき、生徒の発達に即して、計画的、発展的に行われるように組織された全学年にわたる年間の指導計画である。

この計画は、それぞれの担任が道徳の時間の指導をするとき立案する指導案のよりどころや手がかりとなるものです。

●「重点化」を生かした年間指導計画

年間指導計画を実際に作成するには、およそ次の手順を踏んでいくようになります。

①各学年における指導の方針を明確にし、指導内容を発達に即して重点化する

これは、いわば学年ごとに重点的に扱う内容を決めていくということです。学習指導要領という重点化を、学校独自の立場からさらに一歩おし進めていきます。例えば本書の場合も、独自に重点内容を設定し、前ページの道徳教育の全体計画案にあるような重点化を図っています。

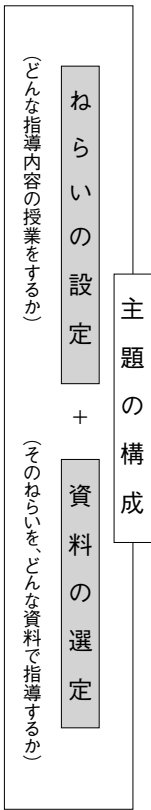
◇ 1～3年の指導内容配当表

※①～③は主題数

	4 主として集団や社会とのかかわりに関すること										3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること				2 主として他の人のかかわりに関すること				1 主として自分自身に関する事				視点		
総時間数	国際理解、人類愛	日本人としての自覚、文化の継承と創造	郷土愛	愛校心	家族愛	勤労の尊さ、奉仕、公共の福祉	集団生活の向上、役割と責任	正義、公正・公平、差別や偏見のない社会の実現	公德心、社会連帯、よりよい社会の実現	法やきまりの遵守、社会の秩序と規則	自然愛、畏敬の念	人間の弱さの克服、人間の気高さ、生きる喜び	生命の尊重	感謝	自他の尊重、寛容、謙虚	男女の敬愛	信頼・友情	人間愛、思いやり	礼儀	向上心、個性の伸長、充実した生き方	眞理愛、理想の実現	自主・自律、誠実、責任	希望、勇気、強い意志	望ましい生活習慣、健康、節度	視点
35	①	①	①	①	②	①	②	①	①	②	①	②	②	①	①	②	②	①	①	①	②	①	③	1年	
35	①	①	①	①	①	②	①	①	①	③	③	②	②	①	①	②	②	①	②	①	②	①	①	2年	
35	②	①	①	①	①	①	①	②	①	②	①	②	②	②	②	①	②	①	①	②	②	②	①	3年	

②主題（ねらい＋資料）を構成する

重点的に扱う内容が決まったら、次はいよいよ主題を構成します。「主題」とは各道徳の時間に学ぶ内容を象徴して表したことです。左図のようにねらいと、そのねらいに適した資料とを併せて構成します。



次に主題名をつけます。主題名は「人間の気高さ」というようにねらいに引きつけて表す場合と「塩狩峠」というように資料名をそのまま用いる場合があります。学研版ではねらいに引きつけて表しています。

③主題を年間にわたって配列する

さらに、各主題の指導の時期を決定し、年間にわたって適切に配列します。その際、主題の性格や学校、社会の行事、体験的活動、各教科特別活動、総合的な学習の時間、季節の変化などとの関連を考慮し、例えば雪あそびの資料を春や夏に指導することのないよう効果的な配列を考えます。

④各主題について展開の概要をたてる

最後に「展開の概要」及び「指導の方法」を考えます。これはいわゆる指導過程の構成であり、1～3年全主題について進めるとなると、かなり多くの作業が必要となります。多くの教師で分担して進めたいものです。また、作業量を考え、授業を展開するうえで基本的な発問（どうしても欠かせない発問）の流れを示しておく程度にとどめてもよいのです。下表は、2年生の計画案のごく一部です。本冊子に付いている、1～3年の年間指導計画例は紙幅の関係で展開の概要が省略されています。

◇道徳第2学年年間指導計画例（部分）

4月	月
<p>主題名・資料名</p> <p>ねらい</p> <p>主な発問例（●中心発問）</p>	<p>4月</p> <p>木は生きています</p> <p>自然を愛護し、美しいものに感謝する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。</p> <p>3 (2) 自然愛、畏敬の念</p> <p>●木と人間の生命は、遠い昔につながっていたという手ごたえを感じた「ぼく」の、自然に対する思いはどんなだったろうか。</p> <p>○突然木の内部を流れる水の音を聞いた「ぼく」の気持ちは、どんなだったろうか。</p> <p>○木は生きているという実感を強くもつた「ぼく」は、どんなことを考えていたのだろうか。</p>
<p>人間としての生きる喜び</p> <p>人間の心の弱さや醜さを自分の問題として捉え、それを克服する強さや気高さがあることに気づかせ、人間としての生きる喜びの大切さを自覚</p>	<p>人間と人間の生命は、遠い昔につながっていたという手ごたえを感じた「ぼく」の、自然に対する思いはどんなだったろうか。</p> <p>○「人殺し、あんたを許さない」とののしられ、被害者の奥さんの足下で泣きながら頭を床にこすりつける「ゆうちゃん」を見て、どんなことを思ったか。</p> <p>○月末になると、薄い給料袋の封も切らず郵便局に行く「ゆうちゃん」を見て、どんなことを思ったか。</p>

●作成に当たって留意すること

作成に際して次のことを念頭に置きたいものです。

- (1) 関連的、発展的指導のできる工夫
四つの視点に基づく内容がバランスよく組み合わせるように、また1, 2, 3学年へと内容が効果的に発展するように配慮します。
- (2) 弾力的な取扱
指導の時期の変更、資料の変更、指導過程の修正なども必要に応じて行い、改善に役立てる。
- (3) 『心のノート』を生かす工夫
導入や終末などで学習過程の一部で補助的に用いることで、よりふくらみのある学習が可能となります。『心のノート』の関連ページを付記しておくことも効果的です。

実態に即した弾力的な

年間指導計画作成のQ&A

学研教育みらいが提案する年間指導計画例は、全国平均的な観点で考え作成されています。そのため、各学校においては各々の状況に基づき再検討を行い、実態に即した年間指導計画を立てることが大切です。表面的には一見どこの学校も変わらないように見えても、各学校には、生徒の道徳的な発達、地域・家庭の状況、学校行事、生徒指導上の課題及び学校教育目標など、実は微妙に実態が異なっています。それらに即応して教育効果を上げるためには、各学校の実態に即して、一般的な例として示されている年間指導計画を調整、再構成する必要があります。次に、課題によってどのような視点で年間指導計画を調整、再構成したらよいかを、「Q&A」の形で示してみましよう。

(実際の工夫例を示した下表のうち、*は重点となる資料です。
また、各主題名等は本書の基本的な年間指導計画に基づいていきますので、ねらい等は、それを参考にしてください。)

1 基本的な生活習慣に重点を置いた指導計画例

Q1 私の学校は、しつけ等の家庭教育が十分に行われていない家庭が多い。地域の雰囲気も何となく落ちつきに欠ける面があります。生徒は、明るくのびのびとしているのですが、基本的な生活習慣に欠け、けじめのない生活態度となり、問題行動も毎日のように起きており、生徒指導に追われる実態です。このような学校での道徳の年間指導計画はどのように組んだら効果的でしょうか。

〔1年〕 基本的な生活習慣に重点を置いた指導計画の工夫例（1、2学期）

		2学期					1学期		学期			
		12月	11月	10月	9月	7月	6月	5月	4月	月		
		《責任ある行動》 *裏庭での出来事 《働く喜び》 *自然な笑顔のまま 《理想を求めて》 *認められたグループ 《心をつなぐ》 *心を大切に 《郷土を大切に》 五色桜	《国際理解》 これからの私 《家族の絆》 *何だっというんだあ 《友情の尊厳》 *心のつながり 《広い心で》 ふと目の前に 《ルールを守る》 *キヤッチボール	《思いやり》 *絆を絶つ、虹のかけはし 《集団の中の自分》 *ハイカク・シヨウとともに 《広い心で》 ふと目の前に 《ルールを守る》 *キヤッチボール	《時間を守る》 *鈴りさおの思い出 《男女理解》 *クランメート 《真の友情》 *吾一と京造	《世界を守る》 *おはれかけた兄妹 《生命の尊重》 *おはれかけた兄妹	《自然とのつながり》 *自然とつながる 《二度と通らない旅人》 *オーストリアのマス川 《向上心、個性の伸長》 *世界に一つだけの花 《充実した生き方》 *向上心、個性の伸長	《自然とつながる》 *自然とつながる 《二度と通らない旅人》 *オーストリアのマス川 《向上心、個性の伸長》 *世界に一つだけの花 《充実した生き方》 *向上心、個性の伸長	《公正な態度》 *シカト 《思いやり的心》 *淳子ちゃん、ありがとう 《健康な生活》 *自然教室での出来事 《責任をもった誠実な行動》 *気まずい時間 《自然とのつながり》 *自然とつながる	《決まりのよい生活》 *朝のうた 《望ましい生活習慣》 *朝のうた	《倉庫な進歩》 *実践目標は小さきみに 《あいさつ大切》 *あいさつ大切 《決まりのよい生活》 *朝のうた	《主題名》・資料名 指導要領との関連 行事等 ○は特に重視するもの
		1 (3) 自主・自律、誠実、責任 4 (5) 勤労の尊厳、奉仕、公共の福祉 1 (4) 真理愛、理想の実現 4 (8) 郷土愛	4 (10) 国際理解、人類愛 4 (6) 家族愛 2 (3) 信頼・友情 4 (8) 郷土愛	2 (2) 人間愛、思いやり 4 (4) 集団生活の向上、役割と責任 2 (5) 謙虚 4 (2) 公徳心、社会連帯、よりよい社会の実現	1 (1) 健康、節度 2 (4) 男女の敬愛 2 (3) 信頼・友情	3 (1) 生命の尊重 1 (5) 向上心、個性の伸長、充実した生き方 4 (1) 法やまじりの遵守、権利と義務、社会の秩序と規律	1 (3) 自主・自律、誠実、責任 3 (2) 自然愛、畏敬の念 3 (3) 人間の弱さの克服、人間の気高さ、生きる喜び 4 (1) 法やまじりの遵守、権利と義務、社会の秩序と規律	1 (1) 望ましい生活習慣、健康、節度 2 (6) 感謝 4 (3) 正義、公正・公平、差別や偏見のない社会の実現	1 (2) 希望、勇気、強い意志 2 (1) 礼儀 1 (1) 望ましい生活習慣、健康、節度	●授業参観 ●地域交流集会 ●合唱コンクール ●授業参観 ●期末考査 ●保護者会 ●一学期終業式 ●入学式 ●生徒会 ●保護者会 「あいさつ運動」月間 ●校外学習 ●中間考査 ●運動会 ●授業参観 ●保育会 ●期末考査 ●保護者会 ●一学期終業式		

A

家庭における基本的な生活習慣が不十分であることは、落ちついた
 節度ある学校生活を送る上で大きな障害になります。しかし、学
 校全体がそのレベルであるときには、むしろ、学校の指導を、実態から
 出発させることが大切です。本当の実態にしっかりと根を張ったもので
 ない限り何の効果も上がらないのは事実です。

○ 基本的な生活習慣の指導を集中的に構造的に行う

基本的な生活習慣の指導は第1学年と第2学年の時に確実に徹底してお
 くべき課題です。一般的には3か年かけて行う内容を、学校によつては
 2か年半で集中的に行うことも考えてみるべきでしょう。

基本的な生活習慣は、知的な認識・理解と体験的・実践的理解の両方が
 調和的に行われないと何の効果も生じません。つまり『言ってみて、行っ
 てみせて、行わせる』ということが大切なのです。その点で、学校行事
 や学級活動での指導と十分に関連をもたせることが大切です。

基本的な生活習慣の指導や、問題行動の防止のための指導の時期的なポ
 イントは4・5月と9月です。この時期に集中的に行うと効果的です。

○ 学級活動、学校・学年行事との関連を深める

道徳の時間でいくら指導しても、それを実践的に理解する機会がなけ
 れば、絵に描いた餅 のようになつてしまい、それっきり霧散してしま
 う可能性があります。道徳の時間に学習したことを他の活動で体験させ
 たり、また、その逆に、他の活動での体験を補充、深化する意味で道徳
 の時間に扱うことの、双方の組み合わせを考へることが大切です。

○ 生徒会活動として、自主的、自律的な体験活動の機会をつくる

授業として行うものばかりではなく、生徒会の運動として「けじめの
 ある生活月間」を4月と9月に設け、生徒が自主的に生活のけじめにつ
 いて考え運動を展開するようにすると効果的でしょう。その際には、生
 徒会活動などを道徳の時間で取り上げて扱うとよいでしょう。

○ 家庭の協力を集中的に得る——授業参観における道徳のPR——
 家庭の理解も欠かせません。授業参観日を積極的に活用しましょう。

〔2年〕 基本的な生活習慣に重点を置いた指導計画の工夫例（1、2学期）

		2学期					1学期		学期	
		12月	11月	10月	9月	7月	6月	5月	4月	月
		〈勤労の尊厳〉 ＊あめ細工 ＊父の仕事 〈世界の人々と生きる〉 たった一人の救援交渉	〈眞の友情〉 ＊あるヒロエの物語 ＊リスム 〈自然への畏敬の念〉 木は生きてゐる 〈ふるさとを愛する心〉 田植え踊り	〈弱さの克服〉 ＊足袋の季節 ＊火影・照明デザイナー・石井幹子の挑戦 〈やめく強い意志〉 ＊ありがう 〈時と場に応じた言葉や行動〉 ＊本心に望ましい社会をつつて	〈いづるもの見方や考え方〉 ＊差別的でない社会について ＊張岩の笑顔 〈理想の自分を追い求め挑戦する心〉 ＊歌の世界で太陽になりたい ＊差別的でない社会について ＊張岩の笑顔	〈充実した生き方〉 ＊スマッシュとチャレンジ 〈自他の権利の尊重〉 ＊居休みの自由 〈社会奉仕から学んだこと〉 ＊わたし、あなた、そしてみんな	＊少年の親切はいくらか ＊感謝する心 ＊家族の「員としての自覚と敬愛の心」 ＊母は優し、そして―― ＊生命の尊厳 フラックシヤック	〈よい友人を得るには〉 ＊量置きの滝 ＊公徳心 ＊ごみ箱の中の町 ＊人を思いやる心 ＊伝言板	〈責任ある行動〉 ＊捨てる、捨てない、そして拾う 人間の弱さの克服と気高さ ＊心のハリアフリ ＊山に憑かれた男	〈主題名〉・資料名 指導要領との関連 行事等 ◎は特に するもの ◎は特別 行事
		4 (10) 国際理解、人類愛	4 (8) 郷土愛	1 (2) 希望、勇気、強い意志 2 (1) 礼儀 2 (5) 謙虚 4 (3) 人間の弱さの克服、人間	1 (5) 向上心、個性の伸長、 4 (4) 眞理愛、理想の実現 4 (3) 正義、公正・公平、差別 や偏見のない社会の実現	4 (1) 法やまじりの遵守、権利と義 務、社会の秩序と規律 4 (5) 勤労の尊厳、奉仕、 公共の福祉	2 (6) 感謝 4 (6) 家族愛	2 (3) 信頼・友情 3 (1) 生命の尊重 4 (2) 公徳心、社会連帯、 よりよい社会の実現	1 (3) 自主・自律、誠実、責任 3 (3) 人間の弱さの克服、人間 の気高さ、生きる喜び 4 (4) 集団生活の向上、役 割と責任	● 一学期始業式 ● 保護者会 ● 一学期終業式
		● 二学期終業式	● 期末考査 ● 保護者会	◎ 文化祭 ◎ 中間考査 ◎ 地域交流集会 ◎ 合唱コンクール	● 授業参観 ◎ 生徒会 「あいさつ運動」 月間	● 保護者会 ● 二学期始業式 ● 教育相談旬間	◎ 林間学校 ● 期末考査	◎ 運動会 ◎ 体育祭 ● 授業参観	● 中間考査	● 一学期始業式 ● 保護者会 ● 一学期終業式

2 進路指導と関連させた指導計画例

Q2

私の学校では、主として2、3年での進路指導に力を入れてい
す。地域的に、教育レベルの高い家庭が多いということもあって、
保護者も進路には強い関心をもっています。どちらかというと進学一
辺倒で、生徒は進路に対して、進学のことのみしか考えない傾向がありま
す。そこで、進路を「進学」だけではなく、もっと幅広い視野から考えさ
せる必要があると考え、進路指導に力を入れることになりました。その
際、道徳ではどのような指導計画を立てたらよいでしょうか。

A

進路指導は、お話の通り、進学のための指導ではなくて、人間と
してこれからどう生きていくかという長期的な見直しをもたせる
指導でなくてはなりません。進路指導は特別活動として学級活動の時間
に行うだけではなく、道徳の時間の指導との密接な関連を図って指導す
ることが必要です。次に、そのポイントと進路指導と関連させた年間指
導計画の弾力的な組み替え例を示します。

○ 進路指導にかかわる道徳指導のポイント

- (1) 進路指導の3か年の指導計画と十分に関連を図る。
- (2) 幅広く、人間としての生き方^①を考えさせる。
- (3) 学級生活の充実、友情、理想の実現などを中心としながら勤務
も加えて変化のある指導を展開する。
- (4) 進路指導にかかわる内容項目を重点化、焦点化させて扱う。
- (5) 親の生き方^②を参考に生かす。
- (6) 地域で活躍する人材を活用する。

○ 道徳の年間指導計画の組み替えのポイント

進路指導上の指導の時期のポイントは1年の11、2月、2年では4、6、
11、12、2、3月、3年では4、6、9、10、11、2月。1月ごろと3月
が特に重点的に扱うとよい時期です。3年生の進路上の動きに、ある程
度下級学年も合わせて焦点化して扱うとよいでしょう。

進路指導と関連させた3年の指導計画の工夫例

3月	2月	11月	6月	4月	月
女闘士 成田真由美 高い理想を求めて生きる ^③ 学校への愛着 校門を握る ^④ すばらしい青年たち	個性を尊重する生き方 ^⑤ まるごと好き ^⑥ 人生を切り開く	通性の手紙 ^⑦ きまわりを守る ^⑧ ボクは新人 清美にやり抜く強い意志 語りよ! 社会の実境 ^⑨ よりよい社会の実現 ^⑩	人生一度だけだから 生きる希望 ^⑪ よし、かかっごい! 自信をもって、自分自身のために	世界の人々に貢献する喜び ^⑫ 笑顔がかけられる 人に迷惑をかけるなということ 自分探しのチャレンジング 男女の敬愛 ^⑬	主題名・資料名 指導要領との関連 行事等 ^⑭
1 (4) 真理愛、理想の実現	4 (7) 愛校心	1 (2) 希望、勇気、強い意志 4 (5) 勤労の尊さ、奉仕、公 共の福祉	1 (3) 自主・自律、誠実、責 任	4 (10) 国際理解、人類愛 1 (1) 望ましい生活習慣、健 康、節度、個性の伸長、 向上心、個性の伸長、 充実した生き方	① 最上級生になつて ② 私の進路目標 ③ 進路説明会 ④ 中間考査 ⑤ 卒業生を囲んで ⑥ 進路先の情報収集 ⑦ 進路相談旬間 ⑧ 進路希望先決定 ⑨ 就職試験 ⑩ 卒業式 ⑪ 奉仕活動 ⑫ 高校入試 ⑬ 高校入試出願

進路指導と関連させた2年の指導計画の工夫例

12月	11月	6月	4月	月
公徳心の中の町 公徳心の中の町 充実した生き方 シヤツとチャレンジ 人間としての生きる喜び ^⑮	父の仕事 社会奉仕から学んだこと わたし、あなた、そしてみんな 勤労の尊さ ^⑯ おめ細工 主体的に生きる ^⑰ 白い花	世界の人々と生きる ^⑱ 山に憑かれた男 役割を果たす 役割を果した男 国際理解、人類愛	伝説が終わることなく伝説に 歌の世界で太陽になりたい 希望、勇気、強い意志 集団生活の向上、役割 と責任	主題名・資料名 指導要領との関連 行事等 ^⑲
3 (3) 人間の弱さの克服、人間 の気高さ、生きる喜び	4 (5) 公徳心、社会連帯、 よりよい社会の実現 向上心、個性の伸長、 充実した生き方 共の福祉	4 (10) 国際理解、人類愛 4 (4) 集団生活の向上、役割 と責任	1 (4) 真理愛、理想の実現	① 1年生に進級して ② 適性検査 ③ 授業参観 ④ 中間考査 ⑤ 父母の職業視調べ ⑥ 期末考査 ⑦ 多様な進路先と コース

3 学級の実態に応じた指導計画例

Q3

私は2年の学級担任をしています。私の学校は2年は5学級で、2年としての道徳の年間指導計画は学校として作成してありますが、学級の生徒の実態からすると、どうもうまくかみ合いません。学級として重点的に扱ったり、違う内容をやりたいと思うのですが、そのようなときにはどうしたらよいのでしょうか。

A

学校の年間指導計画は学校全体の教育目標や指導の重点などに基ついて作成されているものであり、基本的にはその指導計画によって系統的に指導をするべきものです。しかし、各学級の実態は、学級経営が進むにつれて、微妙に差異が生じてきます。良きにつけ悪しきにつけ、各学級の 気風 ができてきます。秋ごろになるとそれが顕著に現れ、指導上、工夫をしたり、変更したりする必要も生じてきます。したがって、各学級の実態に即して学年の年間指導計画を弾力的に扱い組み替えることは、効果をあげる上でむしろ必要なことです。次に、その場合の留意点について示しましょう。

- (1) 年間を通したときに、基となる年間指導計画にあるすべての内容項目が扱われていること。
- (2) 学年内の全教師の了解の下に組み替えを行うこと。
- (3) 指導資料の開発などを補足的に行うこと。
- (4) 組み替えをする時期を選び、組み替える理由と、そのねらいを明確にして行うこと。
- (5) 一つの主題だけではなく、いくつかの主題をまとめて組み替えし、ある一定期間でまとまった指導ができるように配慮すること。
- (6) 組み替えは、できれば学期の始めと終わりに行うことを避けること。
- (7) 学級経営、学級活動との関連を十分に図り、総合的な指導として行われるようにすること。

以上の諸点に配慮した上で組み替えを行うとよいでしょう。

行われるために弾力的に組み替える例
 行われるために弾力的に組み替える例
 行われるために弾力的に組み替える例
 行われるために弾力的に組み替える例

10月	6月	月
《差別や偏見のない公平な心》 張君の笑顔 リズム 《男女の敬愛》	《いろいろなものの見方や考え方を 本当に望ましい社会として》 《役割を果たす》 山に憑かれた男 《よい友人を得るには》 星置きの滝 《人を思いやる心》 伝言板	《主題名・資料名》 指導要領との関連
4 (3)	2 (2)	2 (2)
正義、公正・公平、差別や偏見のない社会の実現	男女の敬愛	人間の愛、思いやり
		4 (4)
		信頼・友情
		2 (3)
		2 (4)
		2 (5)
		自他の尊重、寛容、謙虚
		4 (4)
		集団生活の向上、役割と責任

右の例の場合、1学期が落ちつき始める6月に、もう一度、友人関係や友情の在り方など、人間関係のつなぎ方に重点を置いて道徳の指導を行います。この時期には、学級活動の時間にも、グループ活動や友人関係、より良い学級づくりといったテーマで生徒の話し合い活動を行わせませす。

この時期にこれらの組み替えを行うのは、新しい学級生活にも慣れ、各個人やグループのわがままが出始め、人間関係に微妙なあつれきが生じ始めた場合です。

また、10月にこの視点で行うことは、人間関係も固定し、グループ間の対立が出て学級内が何となく落ちつかなくなり、個人の人間関係よりも、不正を見のがせない態度や、学級という集団の中の個人あるいはグループの在り方、そして、寛容な心を培う必要があると考えた場合の組み替えの例です。

なお、この時期には学級レクリエーションなどの学級行事を組み入れるとよいでしょう。

これらの主題を集中的・重点的に扱うことによって浮いた本来の計画にあった主題は、これらの主題を引き抜いた月に組み込んで行うようにします。

各学級ごとに弾力的に組み替えを行い、指導の効果を高めたいものです。

小・中学校「道徳」の内容項目の関連表

小 学 校			中 学 校
第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	
1 主として自分自身に関すること。			
①節度・節制、自立	→①思慮、節度・節制、自立	→①生活習慣、思慮・反省、 節度・節制	→①望ましい生活習慣、 健康、節度
②勤勉・努力	→②勤勉・努力、忍耐	→②希望、勇気、不撓不屈	→②希望、勇気、強い意志
③勇気	→③勇気	→③自由・責任	→③自主・自律、誠実、責任
④誠実・明朗	→④反省、誠実・明朗	→④誠実・明朗	→④真理愛、理想の実現
	→⑤個性伸張	→⑥向上心、個性伸長	→⑤向上心、個性の伸長、 充実した生き方
2 主として他の人とのかわりに関すること。			
①礼儀	→①礼儀	→①礼儀	→①礼儀
②思いやり・親切	→②思いやり・親切	→②思いやり・親切	→②人間愛、思いやり
③友情・信頼、助け合い	→③友情・信頼、助け合い	→③友情・信頼、助け合い	→③信頼・友情 →④男女の敬愛
		→④寛容・謙虚	→⑤自他の尊重、寛容、謙虚
④尊敬・感謝	→④尊敬・感謝	→⑤尊敬・感謝	→⑥感謝
3 主として自然や崇高なものとのかわりに関すること。			
①生命尊重	→①生命尊重	→①生命尊重	→①生命の尊重
②自然愛、動植物愛護	→②自然愛、動植物愛護	→②自然愛、環境保全	→②自然愛、畏敬の念
③敬虔	→③敬虔	→③敬虔	→③人間の弱さの克服、人間の 気高さ、生きる喜び
4 主として集団や社会とのかわりに関すること。			
①公德心、規則の尊重	→①公德心、規則の尊重	→①公德心、規則の尊重、 権利・義務	→①法やきまりの遵守、 権利と義務、 社会の秩序と規律
		→②公正・公平、正義	→②公德心、社会連帯、 よりよい社会の実現 →③正義、公正・公平、差別や 偏見のない社会の実現
		→③役割と責任の自覚	→④集団生活の向上、役割 と責任
②勤労	→②勤労	→④勤労、社会奉仕、公共心	→⑤勤労の尊さ、奉仕、 公共の福祉
③家族愛	→③家族愛	→⑤家族愛	→⑥家族愛
④愛校心	→④愛校心	→⑥愛校心	→⑦愛校心
			→⑧郷土愛
⑤郷土愛	→⑤郷土愛	→⑦郷土愛、愛国心	→⑨日本人としての自覚、 文化の継承と創造
	→⑥愛国心	→⑧国際理解・親善	→⑩国際理解、人類愛

※節度・節制などの記述は内容項目を集約することによって便宜上表現したものである。